



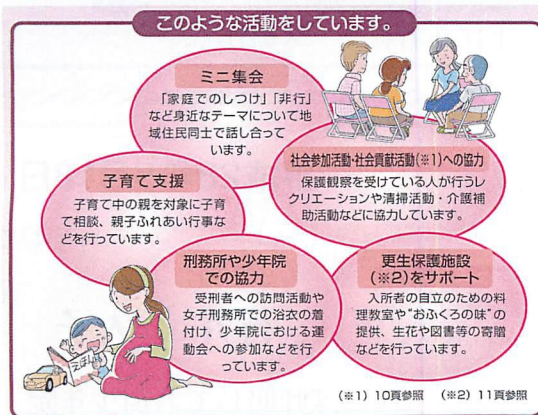
更生保護女性会とは (更生保護女性会の活動について)

平成 28 年 6 月 1 日

講 師 西村 朋子様 (千葉保護観察所 民間活動支援専門官)

更生保護女性会とは犯罪や非行のない明るい地域社会の実現に寄与することを目的として、地域の犯罪予防活動と犯罪をした人や非行のある少年の更生支援活動を行うボランティア団体です。全国に約1,300地区会があり、約17万人の会員が活躍しています。

今後の更生保護女性会の活動は、犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える「地域の力」として「地域力×女性力=無限大の未来」をキャッチフレーズに、「ほっとけない精神」と受容・傾聴・共感を大切に、全ての人に居場所を作ってあげたいと活動していきます。



法務省保護局冊子より

できるときに できることを

～創立50周年を迎えて～

会長 佐南谷 雅枝

昭和43年婦人会をベースにして創立した松戸地区更生保護女性会は今年秋に、50周年を祝います。見返りや報酬を期待しない純粋なボランティア活動であることを自負しています。「できるときに、できることで参加しましょう。」これが当会の基本です。

事業部はバザーや手作り作業によって活動全体を支え、研修部は更生保護に関わるミニ集会や研修の実施、広報部は広報紙やホームページの取材と作成、支援部は児童養護施設の花壇整備の活動をしています。この4部の活動は相互に繋がり、会員それぞれが体験を通してたくさんの事を学んでいます。

私自身、20年に亘る活動を通して知らなかった社会への認識を、地域活動の大切さを知りました。「更生保護活動」という明確な役割を自覚し、互いに尊重し合う温かなふれ合いの中で、自分磨きのできる活動に出会えた幸せをかみしめています。

【事業部の仕事】

事業部長 柳澤 幸子

事業部の主な活動は、まつどまつりバザーの準備です。会員が一年間心にとめ集めた品々をサポートセンターに集い整理、販売しました。その他沖永良部島の黒糖、ユリ根の販売はリピーターが多く完売します。春には白く大きな花が楽しめることでしょう。

バザーの収益金は更生を目指している方々を応援するために使われています。

松戸地区更生保護女性会は 29 年度に 50 周年を迎えます。事業部として何ができるか検討していきます。



まつどまつり



手作り名刺ケース制作

八街少年院訪問

平成28年5月18日

「意見発表会・参観」

石井 久子

5月18日、前日の雨も上がり緑がまぶしい清々しい空気をいっぱい深呼吸して八街少年院を訪門しました。

松戸更女会から9名の参加、9時30分より院生の意見発表会が始まります。60名程の院生が整然と座っている中、更女9名は審査員席に通されました。院長挨拶の後、一人一人の名前が呼ばれ舞台中央にて8名の発表が行われました。発表の内容は「今までの生活」「親・友人との関わり」「仕事の関わり」そして今、人の話に耳を傾け「将来の夢」を語っています。少年達のこれまでの道のりは遠かったことを想像し、胸の熱くなる思いでした。

最後に佐南谷会長より講評がありました。

一人一人の名前を呼んで話しかけるような講評でした。院生はこの場面を心に刻み“更なる生きる力”となってほしいとエールを送ります。

意見発表会終了後、施設内を見学。実習棟では、木工科（木でパズル等作成）、陶芸科、溶接科（文鎮等の作成・アーク溶接）の作品を見学しました。庭にはフォークリフト・ユンボ等の社会復帰の際有利となる資格取得の施設が整っていました。

花壇には八街市更生保護女性会の「お母さんの庭」に彩りよく咲く花々を見て帰途に着きました。



松戸市役所 (7:00) → のぞみの園 (視察) → (昼食) →

群馬県立近代美術館 (見学) → 道の駅ららん藤岡 → 松戸市役所 (18:30)

国立のぞみの園

～共に生きる～

北橋 邦子
田口 淑子

早朝、定刻の7時に、参加会員23名はチャーターのバスで松戸市役所前を高崎市へと出発しました。雨を危惧する向きもありましたが、全行程、時に晴れ間もあるような、ほどよい日和に恵まれました。

国立のぞみの園は、群馬県高崎市にある独立行政法人「国立重度知的障害者総合施設のぞみの園」です。JR高崎駅から園定期バスで25分だそうです。私たちは9時半頃園の入り口に着きました。少し上り坂の道を歩き始めるとすぐに、ふれあい香りガーデンがあり、見学させて頂きました。

構内は70万坪、東京ドーム50個分の広さの由、事業企画部の岩田様から説明を伺いました。そこで、知的障害や発達障害のある人たちの相談・療育・医療などの支援を行い、2歳から65歳以上までの人たちに、日中活動・地域支援・居住支援を行っています。現在全国からの入所利用者250名が、構内にいくつもある寮で生活しています。

「入所が叶えば、生涯にわたり安全に、その人らしく生活することが保障されているのですね。」

「本人が一生を通して守られているし、ご家族や、周りの人も安心ですね。」

今回は特に、「のぞみの園 自活訓練ホーム」を紹介していただきました。地域定着支援センター長の関口様から説明を伺いました。

ここには、矯正施設を退所した知的障害者で、帰住先が無く、ゆくゆくは地域生活で自立が出来ると判定された人たちが入所します。生活支援の次の段階として、社会生活を支援することになります。現在は5人入所です。日中活動として学習、社会スキルのプログラム、心理学関係の学習実践があります。ここでも、入所者の生き生きと明るい様子、職員の方々のやさしい笑顔が印象的でした。

「入所者が、自分らしく、自信を感じさせるような態度で、ほっとする思いがしました。」

「職員の方が本当に親身になって焦らず丁寧に接していらっしゃるのが伝わってきますね。」

この後、地場産業のしいたけや、きくらげを栽培する棟を見学させて頂きました。また、それらの販売所にも案内してもらいました。地域と関係を持ち、『共に生きる社会の実現を目指して』いるとのことでした。

岩田様に記念撮影のシャッターを押して頂き、見送られて、「国立のぞみの園」を後にしました。

昼食の後は、群馬県立近代美術館で、「特別展 フローラ! 花の饗宴 ルドゥーテの『美花選』植物図譜の世界」や常設展などを心ゆくまで鑑賞しました。なお、道の駅「ららん藤岡」で最後の休憩・買い物などをしてから、ほぼ予定の時刻に一路松戸市役所へと向かいました。

往路復路ともバスの中は賑やかに和気あいあいと過ごさせて頂きました。

安全運転でご協力頂いた運転手さん、ありがとうございました。

(数字と言葉はのぞみの園資料を参考にしました)



表彰おめでとうございます

第60回 千葉県更生保護大会

2016年11月17日：香取市佐原文化会館



◇法務大臣感謝状

佐南谷 雅 枝 様

◇千葉保護観察所長感謝状

高 部 信 子 様

◇千葉県更生保護女性連盟会長表彰

瀬 川 朋 子 様

「保護司会協力組織部会との交流」

保護司会協力組織部会と更生保護女性会は、お互いが連携して地域の更生保護活動を推進するため情報交換を行っています。

更女主催のミニ集会への協力、保護司の保護観察対象者への物資の支援など提供すること、養護施設の「はるかだん」の水やりの協力など、お互いに協力要請を図り活動していこうと、活発な意見交換会になりました。



新入会員の紹介



徳永英子さん (新松戸北)

松戸地区更生保護女性会

いっしょに
活動しませんか

非行防止と罪を犯した人の更生を支える活動をしているボランティア団体です。

松戸地区更生保護女性会

🔍 検索

平成28年度更生保護女性会総会



【平成28年度 主な活動報告】

4月8日 総会

6月8日 バス研修

(国立重度知的障害者総合施設 のぞみの園)

7月23日 第66回社会を明るくする運動

講師：川島 隆太氏

(東北大学加齢医学研究所所長)

9月30日 中堅会員研修会

10月2日 まつどまつり

11月17日 第60回千葉県更生保護大会

(香取市佐原文化会館)

平成29年

1月31日 新春懇談会

2月3日 保護司会協力組織部会との交流

♥施設訪問♥

晴香園 花壇作り(主な活動)

5/16 花植込み

6/23 花植込み(土入れ)

8/19 夏の花植え(草取り) 12/7 花壇整備

12/14 冬の花植込み ※毎月水やり等で花壇見守り

10月25日 小谷川学園 / 11月5日 帰性会

♥ふれあい広場♥

10月30日 小金地区 / 11月6日 馬橋地区

11月6日 矢切地区 / 11月20日 五香地区

【平成29年度 主な事業計画】

4月7日 総会

6月上旬 バス研修

7月22日 第67回社会を明るくする運動

9月19日 松戸地区更生保護女性会50周年行事

10月7・8日 まつどまつり

11月16日 第61回千葉県更生保護大会(野田市)

平成30年

2月2日 保護司協力組織部会との交流

【ふれあい広場】…小金 10月 馬橋 11/5 矢切 11/12
五香 11月

【全体会】…5/11(水)・6/7(水)・11/10(金)

H30年 2/26(月)